人口ビジョン・地方創生総合戦略

「枕崎市人口ビジョン」及び「枕崎市地方創生総合戦略」を策定

国は、急速な人口減少・高齢化が進む中、地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目指し、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。その中で、日本の人口の現状と将来の姿を示し、人口減少をめぐる問題に関する国民の認識の共有を目指すとともに、今後目指すべき将来の方向を提示しました。「まち・ひと・しごと創生法」では、市町村は地域の実情に応じ、まち・ひと・しごと創生に関する施策の基本的な計画を定めるよう、努めなければならないこととされています。

これを受けて本市では、国において策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、本市独自の地方創生を推進していくための新たなまちづくりの指針として「枕崎市人口ビジョン」及び「枕崎市地方創生総合戦略」を策定しました。今後は、「枕崎市人口ビジョン」及び「枕崎市地方創生総合戦略」と「第6次枕崎市総合振興計画」を整合し、一体的な施策を展開していきます。

枕崎市人口ビジョン

今後10年間を、現在の20代～30代が結婚・出産・子育て期に入る10年間であると位置付け、地方創生総合戦略をはじめとした各種計画の施策効果を考慮し、本市の若い世代が望む〝希望出生率〟1・84を達成することを目標に「20000人」を、平成37(2025)年の目標人口とします。また、平成72(2060)年の推計人口については14245人と設定します。

枕崎市地方創生総合戦略

本市の地方創生に際し、具体的に取り組むべき事業を国の総合戦略が定める政策分野を勘案し、本市の実情に合わせた4つの柱(政策分野)を設定するとともに、政策分野ごとの5年後の基本目標を次のように設定しました。

◎枕崎で安定した雇用を創出する

基本目標

- 地場産業の活性化を促すことにより、地域に密着した雇用創出数を増やします。
- 新卒者の地元就職率を高めます。
- 起業者や既存事業者の事業拡大、新分野進出の機会を増やします。

◎枕崎への新しい人の流れをつくる

基本目標

- 若い世代の人口流出を減らします。
- 都市部等からの転入者数を増やします。
- 枕崎市への年間観光入込客を増やします。

◎若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標

- 枕崎市で子どもを産み育てたいと思う市民の割合を高めます。
- 若い世代の婚姻数を増やします。
- 合計特殊出生率を上げます。

◎時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

基本目標

- 枕崎市に住み続けたいと思う市民の割合を高めます。
- 「小さな拠点」モデル事業の活動数を増やします。
- まちづくりに関わる人材を育成します。

※「枕崎市人口ビジョン」及び「枕崎市地方創生総合戦略」は、市ホームページで全文を見ることができます。

■問合せ 企画調整課政策推進係 TEL72-1111(内線460・219)

環境保全促進事業補助

枕崎市環境保全促進事業補助金交付制度について

枕崎市環境保全促進事業補助金交付制度とは、地域の河川や海岸、森林などを守っていくため、市民と協力して活動をしている団体へ補助金の交付を行う制度です。

対象となる活動

- 河川や海岸などの水質保全に対する市民への啓発活動
- 河川や海岸などの水質を浄化するための活動
- 森林、河川、海岸等の生物の生息環境を調査保護する活動など

補助対象 市内に活動の拠点を置くボランティアグループや公民館など

対象経費

- 清掃活動に必要な燃料や消耗品、機械などの使用料
- 活動するために加入するボランティア保険料
- 会議や講演会などの資料代や会場使用料など

補助額

- 経費の100分の50以内とし、50万円を上限に、1年に1回交付
- 河川、海岸等の清掃活動については、3万円を上限に、1年に1回交付

※ふるさと美化活動は対象外

交付申請等について

交付を受けようとする団体は、活動計画の申請と、活動完了後の報告が必要です。

市民生活課環境整備係に備え付けの申請書と報告書に、必要事項を記入の上、市民生活課環境整備係へ提出してください。

■問合せ 市民生活課環境整備係 TEL72-1111(内線325)

高度衛生管理型荷さばき所

枕崎漁港に高度衛生管理型荷さばき所が完成

①完成した高度衛生管理型荷さばき所　②式辞を述べる伊藤祐一郎県知事　③挨拶をする神園征市長　④テープカットの様子　⑤荷さばき所内の設備

枕崎漁港外港に高度衛生管理型荷さばき所が完成し、4月13日、完成・市場開場式が行われました。

式には神園征市長をはじめ、伊藤祐一郎県知事、市田恵八朗漁協副組合長など関係者約160名が出席しました。

流通の強化に期待

この荷さばき所は、冷凍カツオの水揚げから出荷までの過程で異物混入などを防ぐ閉鎖型となっていて、総事業費約18億円をかけて県が整備したものです。今後は、枕崎市漁業協同組合が管理・運営を行います。

荷さばき所の建設と並行して水深9メートル岸壁の整備も行われ、近年、大型化が進む海外まき網船の入港ができるようになりました。

消費者の食の安全性に対する関心や海外における和食ブームが高まる中、国内はもとより欧州連合(EU)など諸外国への輸出も視野に入れた施設が完成したことで、流通の強化が図られることが期待されます。

施設概要

延床面積 6718・22平方メートル

構造 鉄骨造1部2階建

■問合せ 水産商工課水産振興係 TEL72-1111(内線414)

浄化槽

合併浄化槽への切替について

浄化槽には大きく分けて「単独処理浄化槽」と「合併処理浄化槽」があります。

単独処理浄化槽は、トイレからの汚れである、し尿のみを処理するもので、台所や洗濯、風呂などの生活排水は処理されないまま川などへ流されます。

一方、合併処理浄化槽は、し尿だけでなく生活排水も一緒に処理する機能を持っています。合併処理浄化槽は、単独処理浄化槽に比べ、環境へ排出される汚れの量を8分の1以下にしてくれます。

市では、市民の皆さんに生活排水対策に積極的に協力していただくために、合併処理浄化槽の設置費用にかかる経費に対して補助金の交付をしています。

美しい環境を未来に残すためにも積極的な切り替えをお願いします。

小型合併処理浄化槽

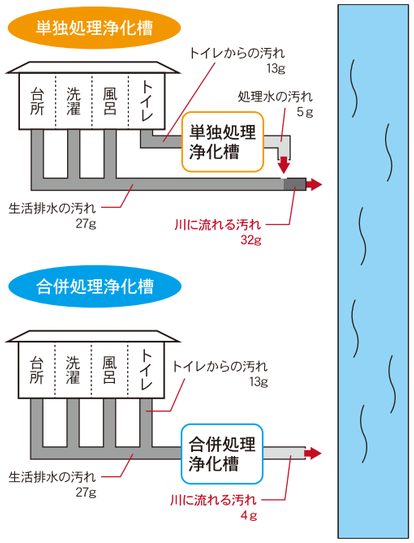
- 5人槽＝332000円
- 7人槽＝414000円
- 10人槽＝548000円

単独浄化槽撤去からの切替

90000円(上限)

■問合せ 市民生活課環境整備係 TEL72-1111(内線325)

●処理のイメージ



※汚れ(g)の値は、1日に1人が排出する有機物(BOD)の量